

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：JR 仙石線の全線運行再開と仙石東北ラインの運行開始
- p2 みやぎ“復興人”：石巻復興支援ネットワーク、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス、応援職員紹介
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



J R 仙石線の全線運行再開と仙石東北ラインの運行開始

—平成27年5月30日—

震災の影響により、現在も高城町駅—陸前小野駅間で運休が続く JR 仙石線が、来る5月30日に全線で運行再開されることとなりました。

被害が特に大きかった陸前大塚駅—陸前小野駅間は、東松島市が野蒜地区で進めている高台移転事業に合わせて整備され、野蒜駅と東名駅も内陸に500メートルほど移設されました。

現在、JR 東日本において、安全な運行再開に向けた試運転走行が連日行われており、沿線住民の方々の期待が日に日に高まっています。

さらに、JR 仙石線と JR 東北本線を松島町内で結ぶ接続線も整備され、JR 仙石線の運行再開に合わせて仙石東北ラインも新たに運行が開始されます。

仙石東北ラインには、新型ディーゼルハイブリッド車両が投入され、仙台—石巻間の所要時間は、震災前の最速快速列車と比較して約12分短縮、最速52分で結ばれることとなります。

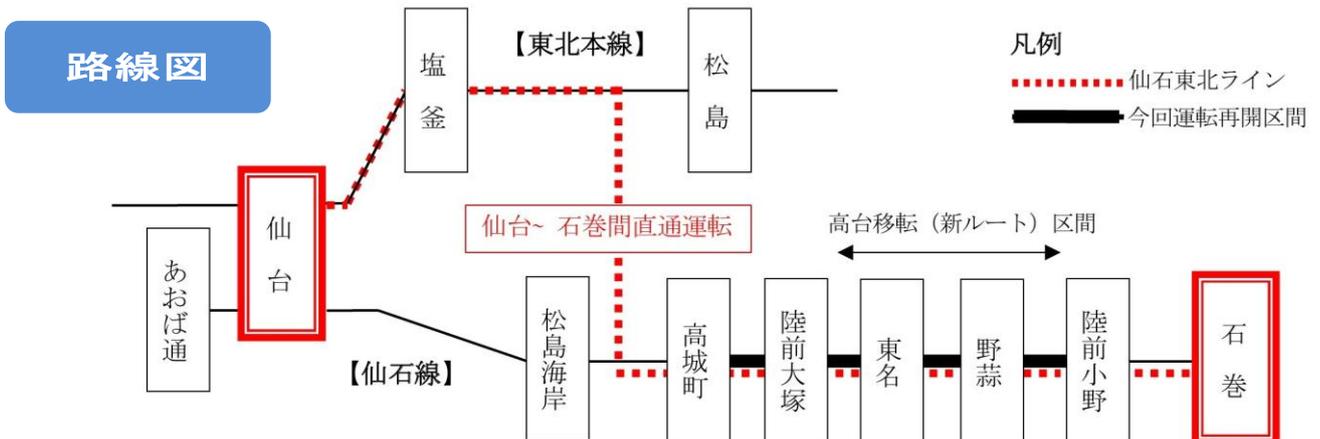
JR 仙石線の全線運行再開と仙石東北ラインの新たな運行開始は、沿線地域の通勤通学の利便性向上はもとより、産業や観光の振興にも大きな弾みとなり、震災からの復興の加速化が期待されます。



▲仙石東北ラインを走行するディーゼルハイブリッド車両



▲野蒜駅（新駅舎）





今月号の復興人は、石巻市を拠点に、住民主体の復興・地域づくりに取り組む「石巻復興支援ネットワーク」代表の兼子佳恵さんにお話を伺いました。

●石巻復興支援ネットワークを設立した経緯を教えてください。

私は、震災前から子育て環境を良くするための市民活動をしていました。

震災直後は、それまでの市民活動等での経験や人脈を活かし、県内外からの支援者と地域を結びつけるといったサポートをしていました。しかし、そうした方々の支援に頼るだけでなく、地元のために自分達が中心となって活動していく必要があると感じ、震災当初より一緒に活動していた「つなプロ」という支援団体と共にこの団体を立ち上げました。

●どのような活動をしているか教えてください。

主な活動としては、仮設住宅の避難者への支援、女性の子育て環境整備や社会進出サポート、地域資源や人材の発掘・育成などを行っています。

活動の1つに「石巻に恋しちゃった」（通称「石恋」）という地域資源や人材の発掘・育成活動があります。

この活動は、特技を持った地域の住民を「達人」と称し、講師として様々な体験プログラムを開催してもらうという企画です。（例：絵手紙づくり、北上川でのカヌー体験、金華サバのしめ鯖作り体験など）

活動を通して地域の住民同士の繋がりができ、今まで知らなかった石巻の魅力を再発見するきっかけとなっています。

また、体験プログラムを受けた方々の口コミが広まり、「達人」に個別に仕事の依頼が持ち込まれ、地域経済を活性化させるという波及的な効果も生まれています。

今年の3月には、第6回「石恋」を開催しましたが、今回も大盛況のうちに終える事ができました。

これからも地域内外のたくさんの方々に参加してもらい、石巻の魅力を更に広めていきたいです。

●今後の取り組みについて教えてください。

これまでに進めてきた地域住民が主体の地域づくりを、行政や企業と連携しながら更に進めていきたいと思っています。

昨年の7月には、地元の起業家が研修を受けたり情報交換ができるコワーキングスペースも完成しました。私達は、そうした環境作りや前に一歩踏み出すためのきっかけやチャンスを生み出していく活動を支援し、地域の住民と行政や企業を結びつける役割を担っていきたくと思っています。

そして、石巻にしかない魅力や人々の繋がりを活かし、この地域にだけにある「オンリーワン」をどんどん広めていきたいと思っています。



▲スタッフの皆さん
中央が代表の兼子さん



▲事務所の隣にある
コワーキングスペース

<イベントのお知らせ>

- ①「第7回石巻に恋しちゃった」達人募集説明会
日時：平成27年5月8日(金)、15日(金)
- ②「マインドフルリーダーシップセミナー」
日時：平成27年5月23日(土)、6月27日(土)
※ビジネスリーダーの心を整え、リーダーシップの基礎をつくるためのセミナー

☎ NPO法人 石巻復興支援ネットワーク

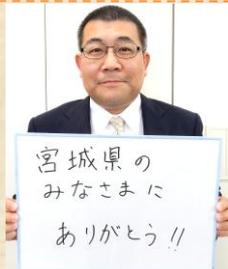
☎ 0225-23-8588

URL <http://yappesu.jp/>

全国の皆さま

ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.31 その1



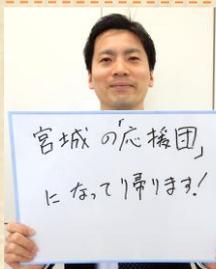
氏名 能代川 康人(ノシロガワ タカヒト)
派遣元 北海道
所属 企業復興支援室

雄大な北の大地、食材の宝庫である北海道から派遣されています。宮城県では石巻市、山元町などで被災した中小企業者に対する復旧支援業務を担当しています。一日も早い復興を願う方々とのふれあいから勇気づけられることも多く、得がたい経験ができたことに感謝しています。引き続き早期復興を目指し努力してまいります。宮城県の皆様へありがとうございます！



氏名 清水 勝(シミス マサル)
派遣元 埼玉県
所属 企業復興支援室

埼玉県から派遣され、被災地域の経済、雇用の振興のため、中小企業などのグループに補助金を交付する事業に関わっています。仕事のため、沿岸地域を訪れることが多いのですが、宮城県には歴史と現在、自然と都市のいずれにも見所がたくさんあり、感動の毎日です。復興の一助になるよう仕事に励みながら、宮城県のよいところを、埼玉県に伝えていければと思っています。



氏名 高島 進(タカシマ スム)
派遣元 東京都
所属 企業復興支援室

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決まり、徐々に盛り上がりを見せている東京都から来ました。私の仕事は被災した中小企業等の施設や設備の復旧整備に補助金を支払う業務です。仕事は全力で頑張っている、休みの日には宮城の良さを満喫したいと思っています。そして、宮城の応援団になって都庁に帰りたいと思っています。1年よろしくお祈りします！

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・100万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です！

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項：1取材対象／2取材希望日／3取材場所／4御担当者氏名／5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2015年4月2日 木曜日掲載

健やかで暮らしやすい地域を (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post_64.html

障がいのある子どもの保護者や子育てに悩む人を対象にしたカウンセリングルーム「陽だまり」がオープンしました。運営する一般社団法人「かもみ〜る」代表の小原美佐さんは、「築いてきたネットワークを生かし、自分たちができることをしたい」と語ります。



2015年4月6日 月曜日掲載

現場を歩こうツアー～海岸防災林

(名取市、仙台市、県外)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post_6.html

震災で失われた海岸林を再生させるため、地元農家と公益財団法人オイスカが多くのボランティアとともに進めている「海岸林再生プロジェクト」。2年目の植林活動を前に「海岸林再生の現場を歩こうツアー」が催され、約150名が参加しました。



2015年4月7日 火曜日掲載

心のケアが大切、「こころスマイルプロジェクト」(石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post_7.html

「子どもたちが安心して過ごせる第三の居場所」に。非営利型一般社団法人「こころスマイルプロジェクト」は震災のトラウマから不登校になった子どもたちや家族を亡くして孤立している子どもたちのための居場所「こころスマイルハウス」を開所しました。



2015年4月8日 水曜日掲載

復興のための発掘。史都を支えた全国の支援 (多賀城市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post_47.html

市の面積の約4分の1が遺跡である多賀城市。遺跡に当たる地域では土木工事の前に法で定められた発掘調査が必要です。復興に伴い急増する発掘件数をこなすために、全国の自治体から専門職員の皆さんが派遣されています。



全国の皆さまご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.31 その2



氏名 山田 明知 (ヤマダ アキノリ)
派遣元 富山県
所属 企業復興支援室

立山連峰や黒部峡谷で有名な富山県から来ました。3月には北陸新幹線も開業し、宮城県にもより気軽に来れるようになりました。こちらに来て2年目になりますが、宮城県は食べ物がおいしく、新鮮な魚類を堪能しています。仕事は、沿岸部を中心に被災された中小企業等の事業再開を支援する補助金業務を担当しています。これからも復興が進んでいくよう、精一杯仕事をしていきたいと思っています。



氏名 吉田 克生 (ヨシダ カツオ)
派遣元 北海道
所属 農地復興推進室

昨年度、北海道から現在の所属に配属となりました。私の仕事は津波で被災した農地を災害復旧した後、復興交付金を活用した農地整備により、大区画で作業性が良く管理のしやすい優良農地に作りかえる工事を計画的に推進するお手伝いをしています。農地整備は約3,800haを3～4年で整備する大プロジェクトです。チームの一員として農家が1日でも早く営農再開ができることを目指しています。

平成27年度地域コミュニティ再生支援事業募集について

県では、仮設住宅から災害公営住宅等への移転本格化を見据え、地域に馴染んで生活を送ることができる生活環境づくりを推進するため、被災地における住民主体のコミュニティ再生に向けた活動を支援します。詳しくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

<募集概要>

1. 補助対象者

- (1) 災害公営住宅等に設立された自治組織等の住民団体、コミュニティの編入先またはコミュニティ形成や交流を目的とした県内の既存自治組織等の住民団体
- (2) 自治組織等が設立前などの地区については、市町村またはNPO等

2. 対象事業

- (1) 地域コミュニティ再生支援事業補助金
災害公営住宅等に設立された、自治会等の地域住民で組織する団体が行う、地域コミュニティ再生活動に対して、その経費の一部を補助
※募集時期：平成27年5月、7月、9月、11月
- (2) 地域力再生活動アドバイザー事業
住民が主体となった地域づくりを推進するため、地域力再生活動団体への助言等を行う「地域力再生活動アドバイザー」を派遣
- (3) 被災地域リーダー等研修・交流事業
地域リーダー同士が情報や意見の交換を行うことができる機会として、研修交流事業を実施

☎ 県地域復興支援課 ☎ 022-211-2424
<http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/komyu.html>

応急仮設住宅の入居期間の延長（5年→6年）について

県では、下記の①②の市町で被災された方のプレハブ仮設住宅および民間賃貸借上住宅など応急仮設住宅の入居期間について、延長する手続きを進めています。

<概要>

【対象被災市町①】

＝要件なし／延長期間＝1年間

石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、東松島市、女川町、南三陸町

【対象被災市町②】

＝要件あり／延長期間＝平成29年3月31日まで

仙台市、多賀城市、亶理町、山元町、七ヶ浜町
※②の市町で被災され、次の要件のいずれかを満たし、入居期間の延長を希望される方は、届け出などが必要になる場合がありますので、被災時にお住まいの市町から送られる案内をご確認ください。

(要件1)

災害公営住宅への入居や防災集団移転など、公共事業による自宅の再建先は決まっているが、工期などの関係から現在決められている入居期間内に応急仮設住宅を退去できない方

(要件2)

公共事業以外で、自宅の再建（再建先・再建時期）は決まっているが、工期などの関係から現在決められている入居期間内に応急仮設住宅を退去できない方

☎ 県震災援護室 ☎ 022-211-3257

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/engo/>

➤ 復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

マリニピア松島水族館

「マリニピアカウントダウン10days」(松島町)

平成27年5月10日に惜しくも閉館をするマリニピア松島水族館の最後の10日間は、開館時間が延長されます。

日 平成27年5月1日(金)～10日(日)
開館時間 8:30～19:00

所 マリニピア松島水族館内

問 マリニピア松島水族館 ☎ 022-355-2020

東北六魂祭2015秋田(秋田県)

東日本大震災により犠牲になった多くの魂を弔うとともに、復興に向かう東北の姿を発信する東北六魂祭。5回目の開催となる今年は、秋田県で開催されます。

日 平成27年5月30日(土) 10:00～20:00
～31日(日) 10:00～17:00

所 秋田市内(パレードは山王大通りを予定)

問 東北六魂祭実行委員会事務局(秋田市観光物産課)
☎ 018-866-6642

マリニバル女川おさかな市場・ほや祭り(女川町)

南三陸特有の珍味で、海のパイナップルとも呼ばれる「ほや」の大特売会や市場特製汁物が振る舞われます。

日 平成27年5月9日(土)～10日(日)
両日ともに10:00～15:00

所 マリニバル女川市場内

問 マリニバル女川事業協同組合

☎ 0225-54-4714

おがつかraftフェア2015・おがつの芸祭「鼓舞」(石巻市)

雄勝伝統工芸品の硯や石工芸品の展示販売や雄勝石を使った石工芸の体験ができる「クラフトフェア」と震災で伝承が危ぶまれていた神楽などの伝統芸能を披露する「鼓舞」が開催されます。

日 平成27年5月24日(日) 10:00～15:00

所 おがつ店こ屋街(石巻市雄勝町伊勢畑84-1)

問 おがつ復興市実行委員会 ☎ 0225-62-3161

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第36号

【発行日】平成27年5月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)

電話：022-211-2408 e-mail：fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URI <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/>

「震災・復興」

URI <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

